



RIVER
One and Only Creator

第67期 中間株主通信

2011年4月1日～2011年9月30日

リバーエレクトック株式会社

証券コード 6666



To Our Shareholders

株主の皆様へ

小型水晶製品で業界トップレベルの 収益性を目指します

代表取締役社長 若尾富士男



Q 第2四半期（連結累計期間）の総括をお願いします。

A. スマートフォン向けの製品が好調に推移しましたが、
業界全体としては厳しい状況です。

夏場以降着実な復興の動きがみられるかと思われた日本経済は、震災前からの課題であった経済の停滞や財政赤字の拡大に加え歴史的な円高水準にあって、経済環境としては複合危機ともいべき状況が続きました。一方で世界の経済環境も、欧州の金融リスクの問題をはじめ、米国では雇用改善の遅れに伴って消費がシュリンクし、世界経済を牽引してきた中国においても金融引き締めの影響により成長に陰りがみられるなど、厳しい状況となっています。

当社におきましては、今期から「アジア地域の営業体制の再構築と販売網の拡充」「音叉型水晶振動子のコスト競争力強化」「経営資源の有効活用」を重点戦略とした第3次3か年中期経営計画がスタートしました。現在、半年が経過したわけではありますが、「全てのステークホルダーから信頼され、価値のある会社であり続けること」を経営の基本方針とし、今期をリバークラウド復活の年と位置づけていることから、何事にも攻めの姿勢でいきたいと考えております。

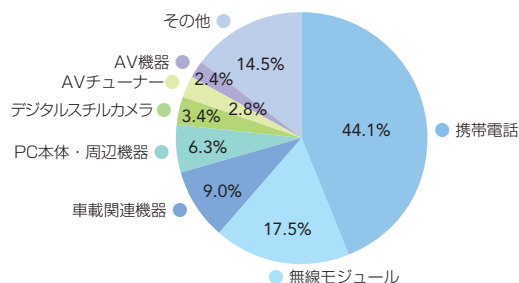
第2四半期連結累計期間の水晶製品事業は、スマートフォン向け製品の需要が引き続き堅調に推移し、「TFX-03」を主力とした音叉型水晶振動子の売上が好調であったことから、



前年同期比でほぼ横ばいの27億82百万円となりました。その他の事業におきましては、抵抗器分野、インダクタ分野ともに事業縮小の方向から、前年同期比で39%減の71百万円となりました。その結果、連結の売上高では28億54百万円（前年同期比1.7%減）となっております。

営業利益は販売数量の増加やコスト削減などが功を奏し、10百万円（前年同期比183.1%増）と増益となり、経常利益も39百万円（前年同期は3百万円の経常利益）となりました。また、特別損失として、株式市場低迷による投資有価証券評価損61百万円を計上した結果、34百万円の四半期純損失（前年同期は6百万円の四半期純損失）となりました。

水晶製品用途別売上高構成



Q 通期の見通しについて教えてください。

A. 想定以上に計画を下回る見通しとなりました。

今期は、主要顧客の需要動向などを踏まえてスマートフォンを主軸とした携帯電話及び無線モジュール向けに大幅な販売拡大を見込んでおりました。しかし、第2四半期連結累計期間においては、同業他社との競争や東北大地震に起因する一部の部品不足および生産調整の影響から受注が思うほど伸

びませんでした。通期では、スマートフォン関係受注の復調見込みがあるものの、全体としては、タイで発生している洪水の影響や記録的な円高の行方など不透明な部分もあり厳しい見通しを立てなければなりません。これにより、売上高は57億29百万円、営業利益は36百万円、経常利益は48百万円、当期純損失は30百万円を予想しております。

Q 株主の皆様へのメッセージをお願いします。

A. 小型水晶製品で業界トップレベルの収益性を目指し、経営の安定化を図ってまいります。

2期連続の赤字決算を経て背水の陣で臨んだ前期は、全社一丸となって固定費削減努力を進めたことや、音叉型水晶振動子の売上が大幅に伸長したことから、90百万円の純利益を計上し1株当たり3円の配当を実施することができました。今期は、ステークホルダーの皆様へ新生リバーとしての復活を見ていただくという決意をもってスタートしました。前期にようやく浮上の足がかりが見えてきただけに、ここでその流れを途絶えさせてはならないと考えております。中期経営計画で掲げる成長ドライバーの強化を更に盤石なものにするためにも、小型水晶製品のパイオニアとして業績を積み重ねていくことで経営の安定化を図ってまいります。

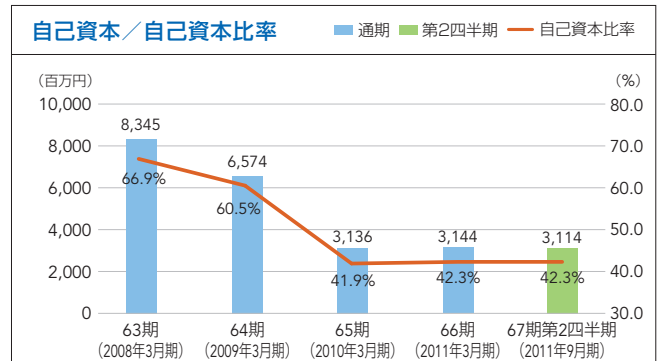
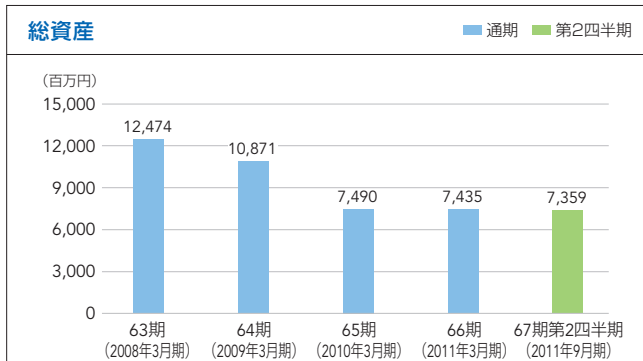
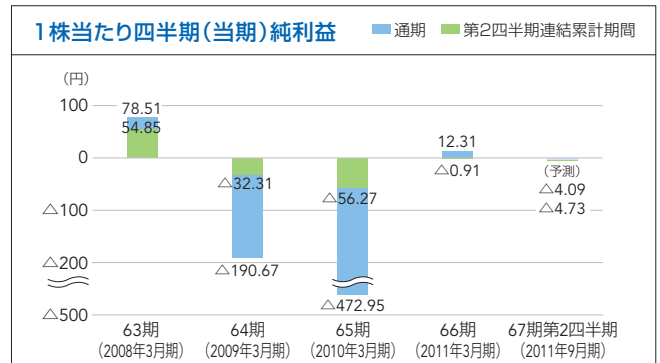
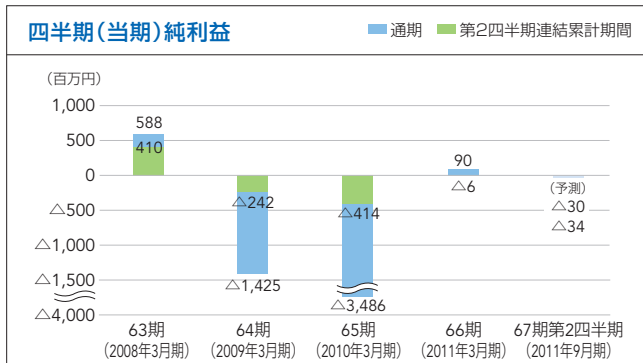
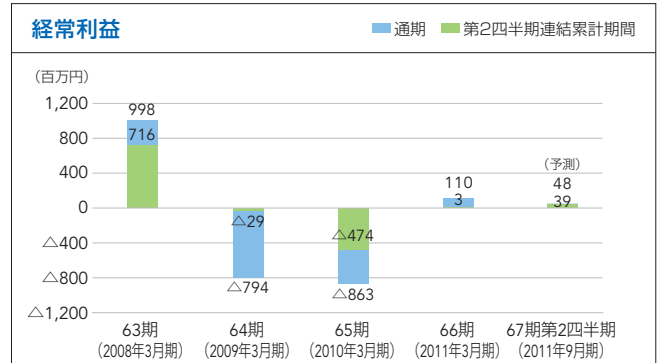
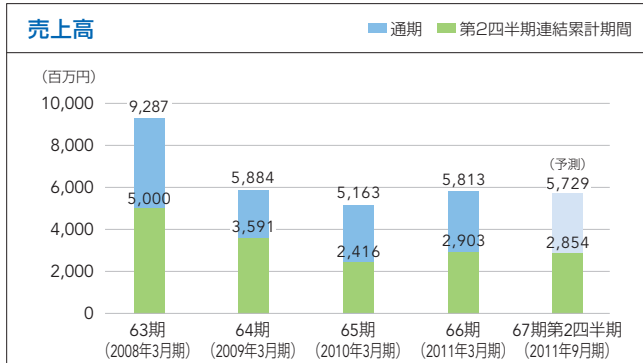
また、今期の後半には、東日本大震災の経験から製造拠点集中によるリスク分散、円高対策と価格対応力の強化を目的に中国西安市の子会社（西安大河晶振科技有限公司）で製造工場を立ち上げます。この海外生産の増強により、小型先端の製品だけでなく、価格競争力を必要とする市場においても販路を開拓し、業容の拡大を進めたいとも考えております。

株主の皆様におかれましては、引き続き倍旧のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



Financial Highlights

連結業績のご報告



Topics 中国の製造工場を開設します

近年、スマートフォンなどのモバイル機器の普及によって小型部品の需要が拡大しており、今後もさらなる拡大が予想されます。また、水晶デバイス市場における価格競争の激化や急速な円高の進行に対抗するためには、リバーグループにおけるコスト競争力及び収益力の向上を図る必要があります。そうした中、当社では供給ニーズに応え、コスト競争力を高めるため海外生産の拡大を検討してきました。このたび、豊富な人材を確保できること、顧客の部品需要が沿岸地域から内陸地域へシフトしていくことなどを考慮し、中国「西安大河晶振科技有限公司」で新たに製造工場を立ち上げることにいたしました。平成24年3月から生産を開始する予定です。

これによって西安大河晶振科技有限公司は、製造販売会社として拡大する中国需要への直接的な対応の他、アジア地域市場への販売拡大を後押しする事業拠点として活動してまいります。

| | |
|------------|------------------|
| (1) 会社名 | 西安大河晶振科技有限公司 |
| (2) 工場所在地 | 西安市経済技術開発区 |
| (3) 資本金 | 6,825 千元 |
| (4) 株主構成 | 当社 100% |
| (5) 主な事業 | 水晶振動子の製造及び販売 |
| (6) 設備投資金額 | 約 400 百万円 |
| (7) 設備導入時期 | 平成 23 年 12 月完成予定 |
| (8) 生産開始時期 | 平成 24 年 3 月開始予定 |

製造工場の概要



株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。

お手数ではございますが、

アンケートへのご協力をお願いいたします。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2か月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を贈呈させていただきます

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。



<http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 6666

いいかぶ

検索

Yahoo!、MSN、exciteのサイト内にある検索窓に、
いいかぶ と4文字入れて検索してください。



空メールにより
URL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からも
アクセスできます

QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、
右のQRコードからもアクセスできます。



※本アンケートは、株式会社 a2media(エー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。
(株式会社 a2mediaについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>)

※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」TEL:03-5777-3900(平日 10:00~17:30) MAIL:info@e-kabunushi.com



Consolidated Financial Statements

連結財務諸表

四半期連結貸借対照表(要旨)

(単位:千円)

| 科目 | 前期 (2011年3月31日現在) | 当第2四半期 (2011年9月30日現在) |
|--------------------|----------------------|--------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | 4,301,035 | 4,124,161 |
| 現金及び預金 | 1,490,241 | 1,270,993 |
| 受取手形及び売掛金 | 1,430,261 | 1,410,054 |
| たな卸資産 | 1,228,921 | 1,295,449 |
| 繰延税金資産 | 14 | 14 |
| その他 | 154,299 | 150,335 |
| 貸倒引当金 | △2,703 | △2,685 |
| 固定資産 | 3,133,989 | 3,235,282 |
| 有形固定資産 | 2,825,120 | 2,962,281 |
| 建物及び構築物 | 459,488 | 452,884 |
| 機械装置及び運搬具 | 1,602,274 | 1,691,387 |
| 土地 | 415,429 | 415,429 |
| その他 | 347,928 | 402,580 |
| 無形固定資産 | 18,033 | 16,521 |
| 投資その他の資産 | 290,834 | 256,479 |
| 資産合計 | 7,435,024 | 7,359,443 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | 2,741,498 | 2,973,511 |
| 支払手形及び買掛金 | 813,617 | 749,853 |
| 短期有利子負債 | 1,417,787 | 1,434,431 |
| 未払法人税等 | 17,364 | 11,031 |
| 賞与引当金 | 63,883 | 66,535 |
| 設備関係支払手形 | 138,275 | 406,611 |
| その他 | 290,570 | 305,047 |
| 固定負債 | 1,549,403 | 1,271,102 |
| 長期借入金 | 1,241,923 | 943,729 |
| 繰延税金負債 | 1,096 | 3,750 |
| 退職給付引当金 | 182,288 | 187,974 |
| 役員退職慰労引当金 | 119,100 | 125,190 |
| その他 | 4,995 | 10,457 |
| 負債合計 | 4,290,902 | 4,244,613 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | 3,525,776 | 3,468,765 |
| 資本金 | 1,070,520 | 1,070,520 |
| 資本剰余金 | 957,810 | 957,810 |
| 利益剰余金 | 1,515,213 | 1,458,201 |
| 自己株式 | △17,766 | △17,766 |
| その他の包括利益累計額 | △381,685 | △353,934 |
| その他有価証券評価差額金 | △34,972 | △19,362 |
| 為替換算調整勘定 | △346,712 | △334,571 |
| 少数株主持分 | 30 | — |
| 純資産合計 | 3,144,122 | 3,114,830 |
| 負債純資産合計 | 7,435,024 | 7,359,443 |

四半期連結損益計算書(要旨)

(単位:千円)

| 科目 | 前第2四半期(累計) 2010年4月1日から 2010年9月30日まで | 当第2四半期(累計) 2011年4月1日から 2011年9月30日まで |
|-----------------------------------|---|---|
| 売上高 | 2,903,330 | 2,854,420 |
| 売上原価 | 2,279,792 | 2,192,108 |
| 売上総利益 | 623,538 | 662,311 |
| 販売費及び一般管理費 | 619,757 | 651,608 |
| 営業利益 | 3,780 | 10,703 |
| 営業外収益 | 25,538 | 54,557 |
| 営業外費用 | 25,707 | 25,395 |
| 経常利益 | 3,611 | 39,866 |
| 特別利益 | 5,951 | 174 |
| 特別損失 | 3,542 | 64,515 |
| 税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△) | 6,019 | △24,475 |
| 法人税等 | 7,404 | 10,421 |
| 少数株主損益調整前四半期純損失(△) | △1,384 | △34,896 |
| 少数株主利益 | 5,330 | — |
| 四半期純損失(△) | △6,715 | △34,896 |

四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:千円)

| 科目 | 前第2四半期(累計) 2010年4月1日から 2010年9月30日まで | 当第2四半期(累計) 2011年4月1日から 2011年9月30日まで |
|---------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 81,616 | 187,944 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △238,490 | 112,883 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △9,681 | △306,017 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △5,185 | 2,793 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △171,740 | △2,396 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 1,149,417 | 1,043,543 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 977,677 | 1,041,146 |

1 POINT **売上高**
水晶製品事業において、スマートフォン向けの販売数量が対前年同期では大幅に増加したものの、デジカメやカーナビゲーション向けが振るわず、水晶製品の売上高は、27億円(前年同期比0.1%減)となりました。

2 POINT **四半期純損失**
四半期純損失34百万円の内容は、当社が保有する他社株式の値下がりに伴う評価損計上が避けられず、特別損失として当該株式に関し61百万円余りの有価証券評価損を計上することによるものです。





Corporate Profile & Stock Information

会社概要・株式の状況

会社概要

(2011年9月30日現在)

| | | | |
|------|--|----|-----|
| 商号 | リバーエレテック株式会社 RIVER ELETEC CORPORATION | | |
| 設立 | 1951年3月9日 | | |
| 資本金 | 10億7,052万円 | | |
| 従業員数 | 98名 | | |
| 役員 | 代表取締役社長 | 若尾 | 富士男 |
| | 専務取締役 | 岩下 | 功 |
| | 取締役 | 三枝 | 康孝 |
| | 取締役 | 高保 | 譲治 |
| | 取締役 | 萩原 | 義久 |
| | 常勤監査役 | 古屋 | 延行 |
| | 社外監査役 | 越智 | 大藏 |
| | 社外監査役 | 丸山 | 正和 |

事業所

| | | | |
|-------|--|--|--|
| 本社 | 〒407-8502 山梨県韮崎市富士見ヶ丘2丁目1番11号 | | |
| 東京営業所 | 〒160-0023 東京都新宿区西新宿4丁目40番14号 | | |
| 大阪営業所 | 〒570-0083 大阪府守口市京阪本通1丁目3番2号 新近藤ビル3F | | |

リバーグループ(子会社の状況)

| 会社名 | 資本金 | 議決権比率(%) | 事業内容 |
|---|------------------------|----------|---------|
| 青森リバーテクノ株式会社 | 千円 50,000 | 100 | 電子部品の製造 |
| 台湾利巴股份有限公司 | 千台湾ドル 19,200 | 100 | 電子部品の販売 |
| River Electronics (Singapore) Pte. Ltd. | 千米ドル 123 | 100 | 電子部品の販売 |
| River Electronics (Ipoh) Sdn. Bhd. | 千マレーシアリングギット 25,400 | 100 | 電子部品の製造 |
| 西安大河晶振科技 有限公司 | 千円 6,825 | 100 | 電子部品の販売 |

株式の状況

(2011年9月30日現在)

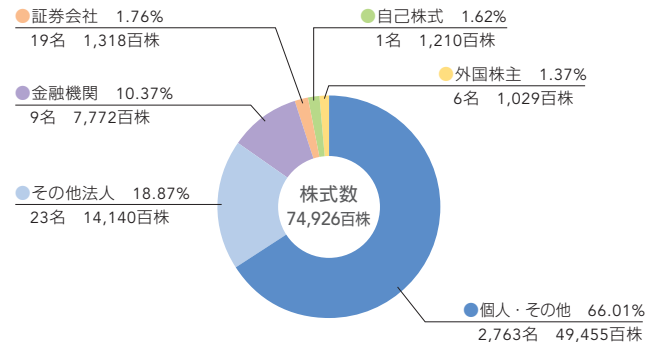
| | |
|----------|---------------------------------|
| 発行可能株式総数 | 21,600,000株 |
| 発行済株式の総数 | 7,492,652株 (自己株式121,080株を含む) |
| 株主数 | 2,821名 (前期末比66名増) |

大株主

| 株主名 | 持株数 (百株) | 持株比率 (%) |
|--------------|-------------|-------------|
| 若光株式会社 | 12,233 | 16.60 |
| 株式会社山梨中央銀行 | 2,680 | 3.64 |
| 竹田 和平 | 2,239 | 3.04 |
| リバー従業員持株会 | 1,936 | 2.63 |
| 若尾 富士男 | 1,786 | 2.42 |
| 若尾 磯男 | 1,651 | 2.24 |
| 株式会社みずほ銀行 | 1,500 | 2.03 |
| 持原 和則 | 1,300 | 1.76 |
| 若尾 亘 | 1,281 | 1.74 |
| 株式会社商工組合中央金庫 | 1,200 | 1.63 |

(注) 持株比率は、自己株式1,210百株を控除して計算しております。

所有者別株式数分布状況



株主メモ

| | | | |
|---------------------|---|---------|--|
| 事業年度 | 毎年4月1日から翌年3月31日まで | | |
| 定時株主総会 | 毎年6月開催 | | |
| 基準日 | 定時株主総会 | 毎年3月31日 | |
| | 期末配当 | 毎年3月31日 | |
| | 中間配当 | 毎年9月30日 | |
| | そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日 | | |
| 株主名簿管理人 | 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 | | |
| 事務取扱場所 | 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部 | | |
| 郵便物送付／ 電話お問い合わせ先 | 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL.0120-288-324（フリーダイヤル） | | |
| 公告方法 | 当社ホームページに掲載する。（電子公告） < http://www.river-ele.co.jp/ > ただし、事故その他の止むを得ない事由によって電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。 | | |
| 上場証券取引所 | 大阪証券取引所 JASDAQ（スタンダード） | | |

株式事務に関するご案内

証券会社でお取引をされている株主様

| | |
|-----------------|---|
| お手続き お問い合わせ先 | お取引のある証券会社 |
| お手続き内容 | 住所変更、単元未満株式の買取・買増請求、配当金受取り方法のご指定、相続に伴うお手続き等 |

特別口座に記録されている株主様

| | |
|-----------------|--|
| 特別口座管理機関 | 住友信託銀行株式会社 |
| お手続き お問い合わせ先 | 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部 TEL.0120-176-417（フリーダイヤル） |
| お手続き内容 | 住所変更、単元未満株式の買取・買増請求、配当金受取り方法のご指定、相続に伴うお手続き等 |
| 特別口座での 留意事項 | ①特別口座では、株式の売却はできません。売却するには、証券会社にお取引の口座を開設し株式の振替手続を行う必要があります。 ②株券電子化前に名義書換を失念してお手元に他人名義の株券がある場合は至急ご連絡ください。 |

※未払配当金の支払い、支払明細等の発行に関する手続きはみずほ信託銀行にお問い合わせください。

| | |
|-----------------|---|
| お手続き お問い合わせ先 | 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL.0120-288-324（フリーダイヤル） |
|-----------------|---|

